

第2回幹事会を開催

年間活動の見通しを確認

3月24日、2022年度第2回幹事会を奈良県産業会館で開催しました。コロナ禍での久々の対面開催となりました。

当面の活動日程としては、①「連合奈良の日」は4月5日、22春闘及びウクライナ侵攻反対をテーマに街頭宣伝のみを行う、②連合奈良推薦議員懇談会には議長・事務局長が参加する、③第93回奈良地方メーデーは4月29日、県庁前広場に於いて3,000人規模で開催し、デモ行進は中止する。④地協交流コンペを5月16日、2年ぶりに開催することなどを確認しました。また、年間の地協活動の見通しについては、①幹事・推薦議員合同研修会を5月28日(土)～29日(日)の日程で実施する方向で計画することをはじめ、②単組書記研修・交流会、③中和労福協合同行事等についても、コロナ感染状況を見極めながらも実施を追求していくことを確認しました。



推薦議員懇談会を開催

3月28日、連合奈良はホテルリガール春日野に於いて「推薦議員懇談会」を開催しました。連合奈良からは、西田一美会長はじめ23名、推薦議員としては県議会、各市議会、前職各議員30名が参加しました。

連合奈良からは、政策報告として水野事務局長から、奈良県公契約条例制定に至る取り組みの経過と政治分野におけるジェンダー平等について提起しま

した。その後、参加議員からそれぞれ活動報告を行い、意見交換を行いました。



連合奈良の日(4月度)

ウクライナへの緊急募金活動

4月5日、18時より近鉄大和高田駅において地協三役と推薦議員による「連合奈良の日」街頭宣伝を行いました。推薦議員は尾崎県議会議員、西村元秀・西川繁和両高田市議会議員、筒井寛香芝市議会議員が参加しました。

高谷議長は、連合が取り組んでいる2022春季生活闘争の現時点について、「コロナ禍だからこそ『賃上げ』にこだわり、昨年を上回る回答を引き出している労働組合が多くある。」「経済の安定のためにも内需を拡大し、『未来づくり春闘』として全力で取り組んで行く」と訴えました。

また、ロシアの侵攻によってウクライナでは、街が無残に破壊され、子どもを含む多くの市民が殺害されています。ウクライナの人口の4分の1にあたる100万人以上が国内外での非難を強いられ、3月末現在で他国へ逃れた避難民は400万人を超えたとされます。市民や住居、民間施設への攻撃で日夜生命と生活が脅かされ、避難民の受け入れ施設や救援物資などの支援が必要とされています。

こうした状況を受け「ウクライナへの緊急支援募金活動」を展開しました。参加の推薦議員の皆さんもマイクと募金箱を手に寄付を呼びかけました。

1時間の活動でしたが、16,896円の募金を集めることが出来ました。ありがとうございました。

募金は UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)へ全額送金しました。

